Mimaki

# UV INKJET PRINTER

# UJV-160

# 日常のお手入れマニュアル

## お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

## 目　次


**安全にお使いいただくために ..... 2**
- 使用環境とお手入れについて ..... 2
- お手入れ上のご注意 ..... 2
- 外装のお手入れ ..... 2

**作図結果が改善されない場合は ..... 3**
- 作図不良の例 ..... 3
- ワイパのクリーニング ..... 4
- ノズル吐出不良の回復方法 ..... 5

**フラッシングトレーのクリーニング ..... 6**

**作図中のインク滴の垂れを防ぐ ..... 8**

**廃インクが溜まったら ..... 10**
- 廃インクトレーのインクを処分する ..... 10
- ワイパタンクのインクを処分する ..... 12

**保管方法について ..... 14**
- 不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管 ..... 14
- メディアの保管 ..... 14
- インクカートリッジの保管 ..... 14
- 本体の保管 ..... 14



株式会社ミマキエンジニアリング

D201878-11

# 安全にお使いいただくために

## 使用環境とお手入れについて

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 紫外線硬化インク（UV インク）を使用するので、換気のよい場所に設置してご使用ください。
- 使用環境温度は +15 ℃～ +30 ℃です。これより低温／高温でのご使用は避けてください。

## お手入れ上のご注意

- 本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。

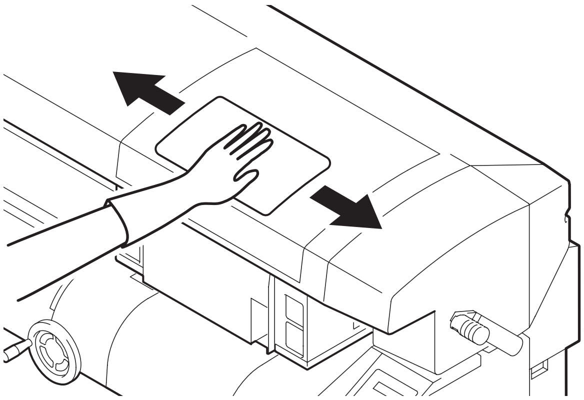
- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- UV LED の温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。UV LED で火傷をする危険性があります。

- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺へは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。

- 本機は紫外線硬化インク（UV インク）を使用します。
  お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。

## 外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。



# 作図結果が改善されない場合は

ヘッドのクリーニング（☞ 取扱説明書 P.2-28）を実行しても作図結果が改善されない場合は、ワイパのクリーニングをしてください。

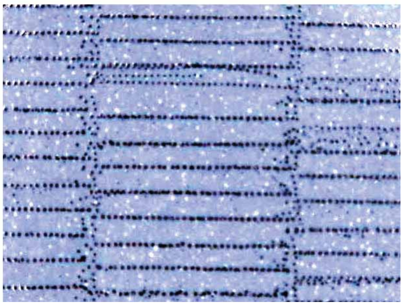
- 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| クリーニングに必要なもの | • ワイパスポンジ（SPC-0578） | • UJ 清掃棒（SPC-0386） | • 手袋 | • ゴーグル |

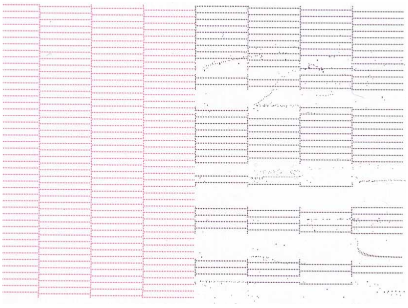
## 作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態でご使用にならないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。ノズルの状態は、本機の「テスト作図」で確認することができます。

飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち

しぶき

# ワイパのクリーニング

**1** 電源を入れる

**2** < ローカル > 表示のとき、FUNCTION キーを押す

```
<ローカル.1>
```

**3** ▲▼を押して［メンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
FUNCTION
メンテナンス              <ENT>
```

**4** ▲▼を押して［ステーションメンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
メンテナンス
ステーション　メンテナンス    <ent>
```

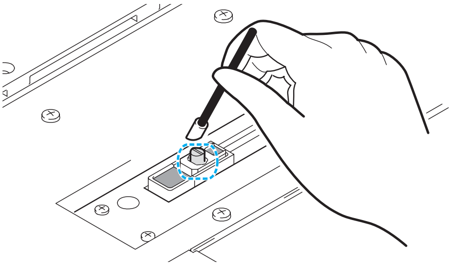
**5** ▲▼を押して［ワイパセイソウ］を選び、ENTER キーを押す

```
ステーション　メンテナンス
ワイパ゜　セイソウ            <ent>
```

- キャリッジが左側のフラッシングトレー付近へ移動します。
- ワイパが手前に移動します。

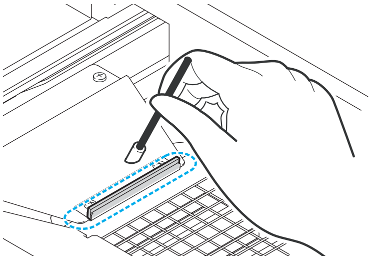
**6** 清掃棒でワイパの汚れを拭き取る

- 図の部分を拭いてください。

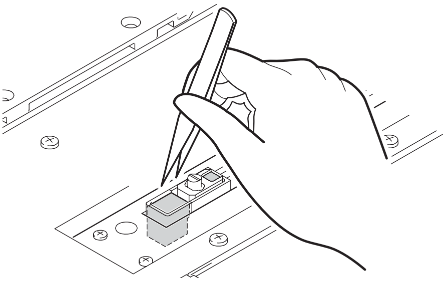


**7** 清掃棒でワイパーゴムの汚れを拭き取る

- 図の部分を拭いてください。
- ワイパーゴムの汚れがひどい場合は、ゴムを交換してください。



**8** スポンジが汚れている場合は、スポンジを交換する



- ピンセットでスポンジを取り外して、付属のスポンジをセットしてください。

**9** 清掃が終了したら、 ENTER キーを押す

```
ワイパ゜　セイソウ
シュウリョウ　　　　　：ent
```

- 初期動作を実行します。

**10** END キーを押して終了する

## ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間ご使用にならなかった場合や、環境温度によってはノズルの吐出が安定しなくなることがあります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。

注意

- これらの方法を行ってもノズル吐出が回復しない場合には、弊社サービスまたはお買い上げの代理店にご連絡いただき、ヘッド交換等の処置が必要になります。

**1** 日常のお手入れを行う

- 本文に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

**2** ヘッドのクリーニングをする （ 取扱説明書 **P.2-28**）

- 手順 1 の後、取扱説明書の手順に従ってクリーニングを実行してください。
- クリーニングとテスト作図を繰り返し、ノズル詰まりがなくなることを確認します。

- これまでの操作でノズル詰まりが回復しない場合には、弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

# フラッシングトレーのクリーニング

1ヶ月に 1 回、フラッシングトレー内のフラッシングフィルタを交換してください。

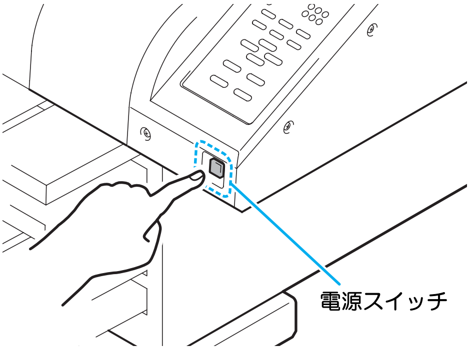
| | | | |
|---|---|---|---|
| クリーニングに必要なもの | • F-200 洗浄キット（SPC-0568） | • フラッシングフィルタ（SPC-0577） | |
| | • 手袋 | • 紙タオル | • ゴーグル |

• 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

重 要 !

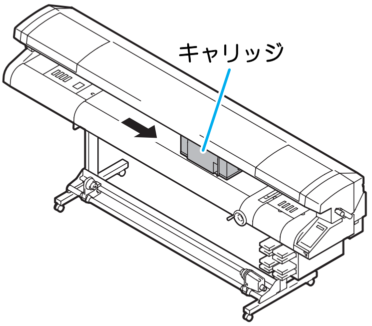
• フラッシングフィルタ（廃インク吸収材）は 1ヶ月に 1 回を目安に交換してください。フラッシングフィルタが吸収可能な量を超えると、インクが溢れることがあります。

## 1 電源スイッチを押して、電源を切る



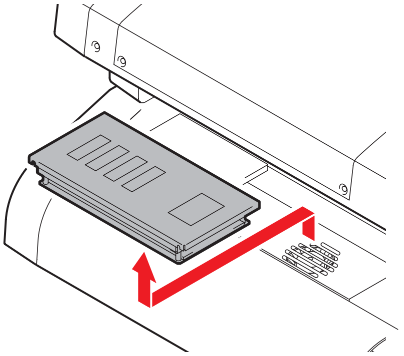

## 2 キャリッジを右側へ移動する

• ジョグキー ◀ ▶ でキャリッジを動かします。

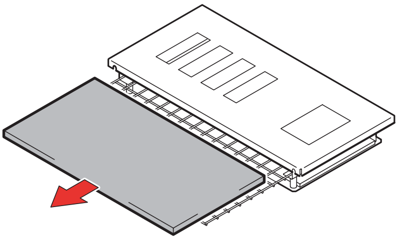



## 3 本機の左側にあるフラッシングトレーを取り外す

• 上に持ち上げて取り外します。

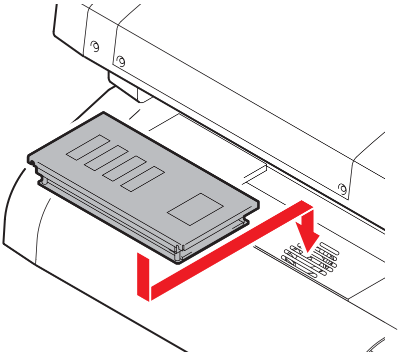


## 4 フラッシングトレー内部にあるフィルタを交換する



## 5 フラッシングトレーをセットする

- トレーが浮いたりずれたりせず、本体にしっかりはまるようにセットします。



# 作図中のインク滴の垂れを防ぐ

キャリッジ下面には、作図中のミストによりインク滴が発生することがあります。インク滴が垂れるとメディアが汚れたり、かすれや抜けの原因となりますので、頻繁にキャリッジ下面を清掃してください。

| クリーニングに必要なもの | • UJ 清掃棒（SPC-0386） | • 手袋 | • ゴーグル |
|---|---|---|---|
| | • プラスドライバ | | |

## 1 電源を入れる

- 初期動作後、<ローカル>が表示されます。

## 2 廃インクトレーのカバーと廃インクトレーを外す

- P.10「廃インクが溜まったら」を参照してください。
- 手袋とゴーグルを着用して作業してください。

- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクトレーを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。

## 3 <ローカル>表示のとき、FUNCTION キーを押す

```
＜ローカル．1＞
```

## 4 ▲▼を押して［メンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
FUNCTION
メンテナンス                ＜ENT＞
```

## 5 ▲▼を押して［ステーションメンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
メンテナンス
ステーション　メンテナンス    ＜ent＞
```

## 6 ENTER キーを押す

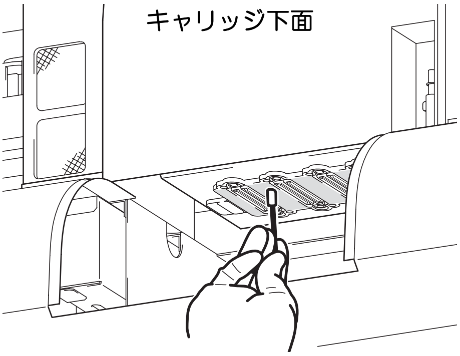
- キャリッジが、待機位置（左側）から右側の廃インクトレー付近へ自動的に移動します。
- 移動が完了すると、手動でキャリッジの移動ができます。

```
ステーション　メンテナンス
キャリッジ　アウト          ＜ent＞
```

## 7 キャリッジを、手動で右側の廃インクトレーがあった場所へ移動させる

## 8 清掃棒に洗浄液をしみこませ、ヘッドの側面を清掃する

- ヘッドのノズル面は拭かないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。




## 9 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

| | |
|---|---|
| ステーション　メンテナンス | |
| シュウリョウ | ：ｅｎｔ |

- 初期動作を実行します。

## 10 手順 **2**、**3** で外したカバーとトレーを元の位置に戻す

- 手順 2、3 と逆の手順で、手前のカバーと廃インクトレー、廃インクトレーのカバーをセットします。

## 11 END キーを押して終了する

# 廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクトレーとワイパタンクに溜まります。定期的に廃インクトレーとワイパタンクをチェックして、インクが溜まっていたら処分してください。

- 予備の廃インクトレー / タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。

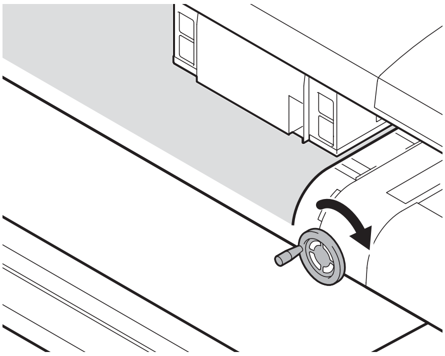
- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクトレー / タンクを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。
- 廃インクは、廃インクトレーの半分くらいまで溜まったら処分してください。

| 作業に必要なもの | • プラスドライバ | • 手袋 | • ゴーグル |
|---|---|---|---|

## 廃インクトレーのインクを処分する

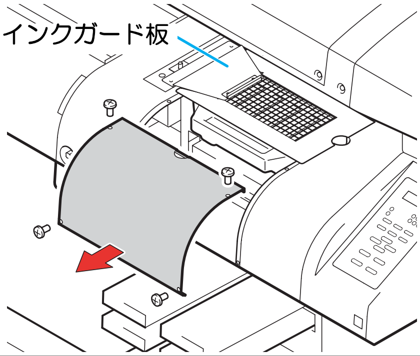
### 1 Yバー上下ハンドルを取り付けて、Y バーを上げる

- Y バー上下ハンドルを時計回りに回して Y バーを最大まで上げ、廃インクトレーとインクガード板との間に隙間を作ります。



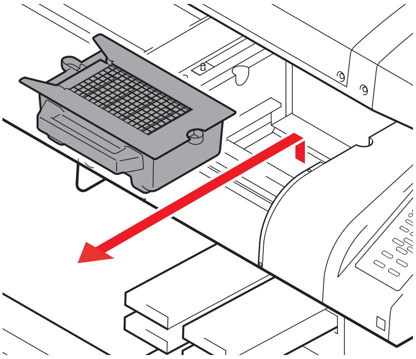
### 2 手前のカバーを外す

- ネジ 4 本を外して、カバーを外します。



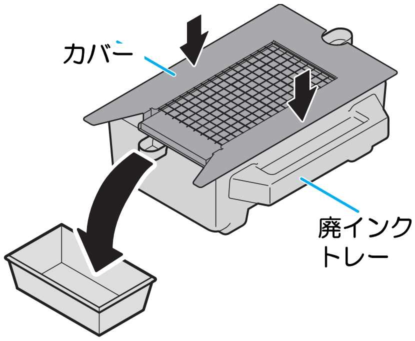
## 3 廃インクトレーを取り出す

- カバーを載せたまま廃インクトレーを持ち上げ、手前にスライドさせながら取り出します。



## 4 廃インクを別のふた付きタンクに移す

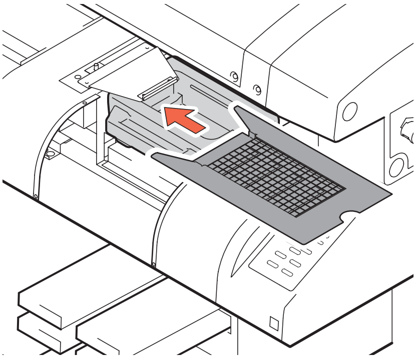
- 廃インクトレーとカバーを挟むように両手で持ち、インクを処分してください。
- 下に紙を敷いてから廃インクを移してください。（インクで床を汚さないように）
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



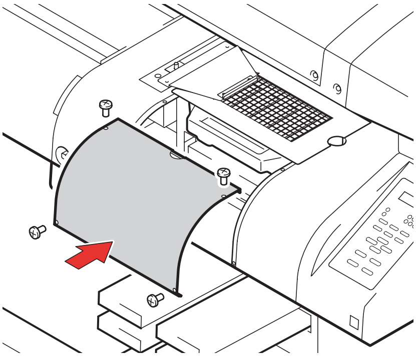

## 5 空にした廃インクトレーをセットする

**(1)** 廃インクトレーのみセットします。
**(2)** カバーを右からスライドさせてセットします。

- 空の廃インクトレーを入れるとき、ケースの角でけがをしないよう注意して入れてください。



## 6 手前のカバーを取り付ける



# ワイパタンクのインクを処分する

## 1

### 電源を入れる

- 初期動作後、< ローカル > が表示されます。

## 2

### < ローカル > 表示のとき、(FUNCTION) キーを押す

```
〈ローカル．1〉
```

## 3

### (▲)(▼)を押して［メンテナンス］を選び、(ENTER) キーを押す

```
FUNCTION
メンテナンス                〈ENT〉
```

## 4

### (▲)(▼)を押して［ステーションメンテナンス］を選び、(ENTER) キーを押す

```
メンテナンス
ステーション　メンテナンス　〈ent〉
```

## 5

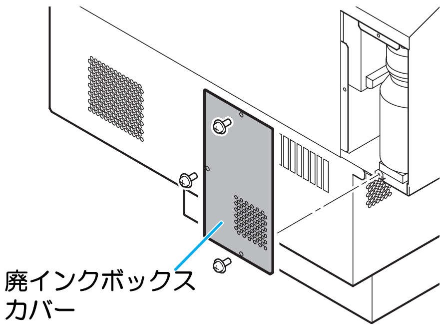
### (▲)(▼)を押して［ワイパタンクコウカン］を選び、(ENTER) キーを押す

```
ステーション　メンテナンス
ワイパ゜タンク　コウカン　　〈ent〉
```

## 6

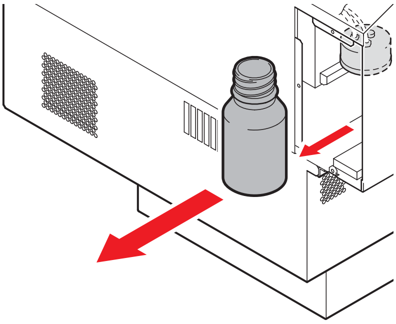
### 廃インクボックスカバーを開ける（本機背面）

**(1)** 廃インクボックスカバーのネジを外す
**(2)** カバーを開ける



## 7 ワイパタンクを外し、廃インクを廃棄する

- タンクのふたを持ってタンクを回し、タンクを取り出します。
  中のインクを処分してください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



## 8 ワイパタンクを戻す

- ふたを持ってタンクを回し、ふたを閉めます。
- 廃インクボックスカバーを取り付けます。

## 9 ENTER キーを押す

```
ワイパ゜ タンク　コウカン
シュウリョウ　　　　：ent
```

## 10 END キーを押して終了する

# 保管方法について

## 不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管

不凍液、メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

## メディアの保管

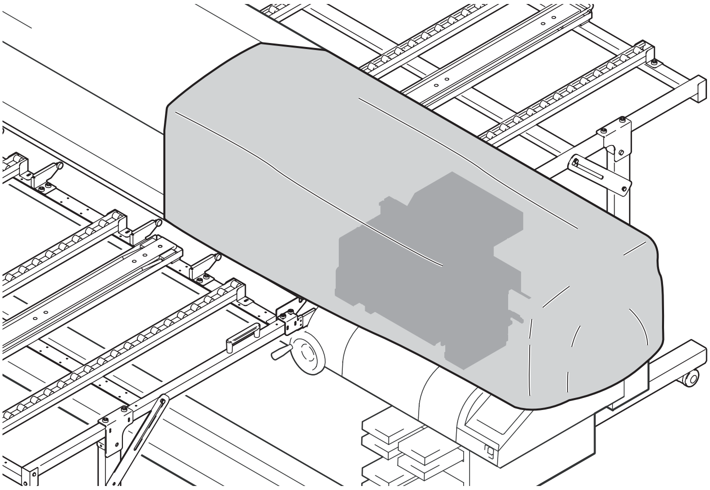
メディアは、ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。また湿度も嫌いますので高温多湿の場所での保管は避けてください。

## インクカートリッジの保管

直射日光があたらず、湿度の高くない場所に保管してください。
精細な製品ですから、落下させたりぶつけたりしないでください。
インクカートリッジに装着されている基板（右写真）は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。

## 本体の保管

本機を長期間ご使用にならない場合は、ヘッド周辺の UV インク硬化防止のため、付属の遮光シートをヘッド待機位置（待機位置により、右または左）を覆うように掛けてください。



Mimaki

D201878-1.10-13012009
Printed in Japan
© MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd. 2009

EM
FW : 1.20